

株主のみなさまへ

第66期 中間株主通信 2015年6月1日 ▶ 2015年11月30日



CONTENTS

- P.1 トップインタビュー
- P.2 連結財務ハイライト
- P.4 トピックス
- P.5 連結財務諸表
- P.6 会社情報／株式情報

ごあいさつ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第66期中間株主通信をお届けするにあたり、日頃のご支援・ご鞭撻に対し、心より御礼申し上げます。

今後とも皆様のさらなるご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

2016年2月

代表取締役社長 **金森 武**



Q1

当第2四半期の業績はいかがでしたか？

増収増益、利益面では2倍超の改善となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、外商事業における既存取引の伸長やアミカ事業における既存店売上の好調推移などが寄与し、260億86百万円（前年同期比109.4%）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、全社的に経費抑制に取り組んだことにより、営業利益は3億2百万円（前年同期比225.1%）、経常利益は3億10百万円（前年同期比247.0%）と前年同期に対し2倍超の改善となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、減損損失99百万円等による特別損失1億6百万円の計上があったものの前年同期を上回り、1億15百万円（前年同期比273.2%）となりました。

Q2

各事業の業績・取り組みについて説明をお願いします。

収益性の向上に取り組み、その成果があらわれてきました。

外商事業では、前連結会計年度に獲得した新規得意先による増収に加え、既存得意先における取引拡大が寄与し、売上高は163億35百万円（前年同期比110.6%）となりました。きめ細かな商品提案

や迅速な情報提供、得意先ニーズに応じた物流体制など、当社の営業体制をお客様に評価いただき、既存取引の拡大、新規取引の獲得へとつながっています。引き続き、外食チェーンやホテル、レストランなど多様な外食産業の得意先に対し提案型営業を展開し、営業基盤の拡大を進めていきます。

利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、販売管理費率が0.5ポイント低下したことにより、営業利益は64百万円（前年同期は営業損失18百万円）と改善が進みました。販売管理費につきましては、売上高が前年同期比110.6%と伸長したことに対し、販売管理費は前年同期比106.2%と増加幅を抑制し、収益改善に寄与しています。引き続き、配送や庫内作業の見直しなどによる物流費の抑制や、業務効率の向上による人件費の抑制など、経費抑制に向けた取り組みに注力していきます。

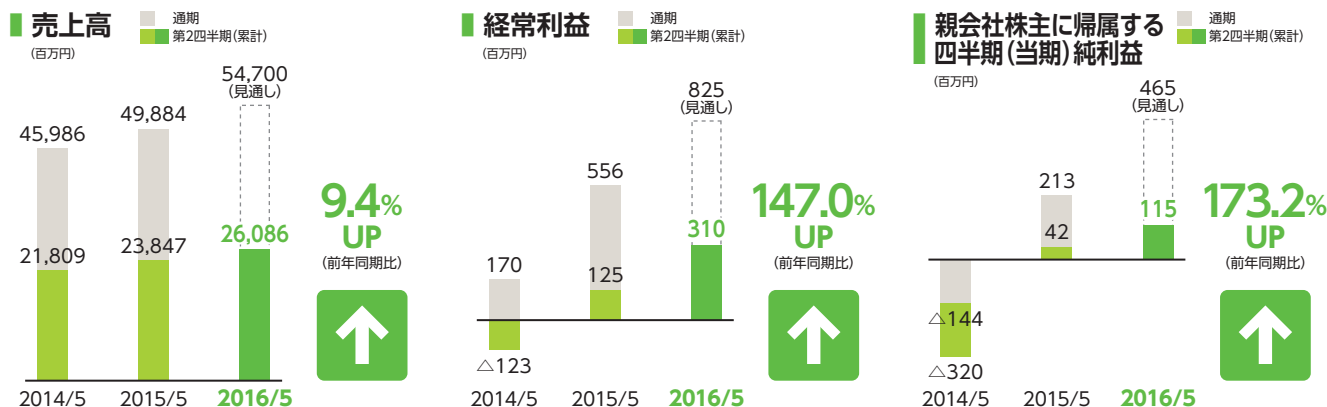
アマカ事業では、前連結会計年度に開業した新規

店舗による増収に加え、既存店舗、ネットショップの好調推移が寄与し、売上高は88億80百万円（前年同期比108.8%）となりました。既存店売上高は前年同期比104.9%、ネットショップは前年同期比142.4%と増収に寄与しています。新規出店については、2015年10月にアマカ高山店（岐阜県高山市）をオープンしました。

当事業では、アマカの特長である豊富な品揃えと商品知識を活用した接客活動の一層の強化を図り、ハラル食品（※）の拡充や季節商材の取り扱い強化、定期的な商品勉強会等による商品知識の向上、店舗におけるレシピ紹介やPOP広告の活用、既存顧客への営業活動の強化など、それぞれの店舗で施策に取り組み、それらが奏功し来店客数やお買い上げ点数の増加へとつながっています。

利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加に加え、販売管理費率が低下したことにより、営業利益は6億85百万円（前年同期比

連結財務ハイライト

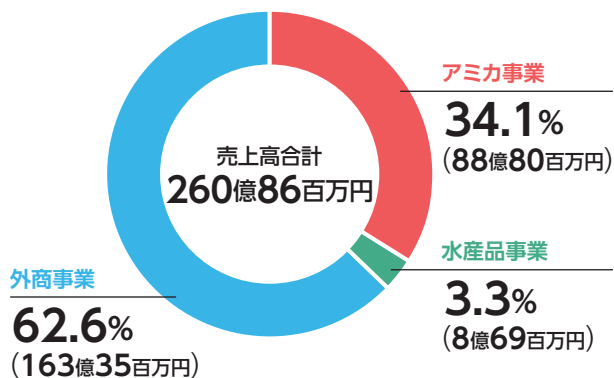


123.8%)と伸長しています。販売管理費につきましては、前期開業3店舗および当期開業1店舗にかかる経費の増加があったものの、原油価格下落の影響による光熱費の減少のほか、消耗品費等の経費が減少し、販売管理費率は0.9ポイント低下しています。

水産品事業では、大手水産会社との既存取引の拡大や外商事業との連携による新規得意先の獲得など、既存得意先・新規得意先の双方で販路拡大に注力してきましたが、売上高は8億69百万円（前年同期比94.1%）となり、営業損失は23百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。これまで以上に新規開拓や事業間の連携強化に注力していくとともに、採算管理の徹底や経費抑制に努め、収益改善を図っていきます。

(注) ハラル食品とは、イスラム法上食べることが許されている食品を指します。訪日外国人観光客の増加等によりハラル食品に対するニーズが高まっており、アメリカではハラル食品の拡充に取り組んでいます。

【セグメント別 売上構成比】



Q3

通期の業績予想はいかがですか。

**売上高547億円、経常利益8億25百万円
過去最高益を計画しています。**

通期の業績につきましては、売上高547億円（前期比109.7%）、営業利益8億10百万円（前期比143.2%）、経常利益8億25百万円（前期比148.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益4億65百万円（前期比217.3%）を計画しています。

売上高につきましては、外商事業における新規開拓や既存取引の伸長、アメリカ事業における販売施策、品揃えの充実化による来店客数の増加、水産品事業における新規開拓の強化など、各事業の取り組みを通じ増収を計画しています。

利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加を見込むとともに全社的に経費抑制に取り組み、着実に通期の計画を実行し過去最高益の更新をめざします。

当社グループは、3つの事業を通じ、お客様の満足度を高めることで、企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

株主の皆様には、一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

TOPICS 1

岐阜県高山市に アミカ高山店をオープン

2015年10月、岐阜県高山市に飛騨地区初出店となるアミカ高山店をオープンいたしました。高山市は、国内のみならず海外からも観光客が訪れる観光スポットであります。アミカ高山店では、高山市内の飲食店、宿泊施設等のお客様をはじめ、隣接する飛騨市、下呂市からも多数のお客様にご利用いただいています。

店名：アミカ高山店
住所：岐阜県高山市昭和町2-115-2
営業時間：9:30～20:00



アミカ店舗一覧

- 【東京都】 赤羽西口店、竹ノ塚店、立川店
- 【愛知県】 小牧店、大曾根店、尾張旭店、大須店、一宮店、港当知店、岡崎店、堀田店、豊橋店、東海名和店、豊川店、緑浦里店、高針店、春日井店、豊明店、安城店、西尾店、中村井深店、守山大森店、半田店、豊橋佐藤店、豊田店
- 【岐阜県】 岐阜店、大垣店、長良店、各務原店、可児店、多治見店、大垣北店、中津川店、高山店
- 【三重県】 四日市店、伊勢店
- 【静岡県】 浜松店、磐田店
- 【滋賀県】 彦根店、瀬田店、長浜店、滋賀守山店

TOPICS 2

社会貢献活動 QUOカードを寄付

当社では、アミカ商品券と交換されたQUOカードを東日本大震災等の復興支援に役立ててもらうため、アシスト（ジャパン）の会を通じて被災地へ寄付いたしました。アシスト（ジャパン）の会は、白鷗大学教授、東北福祉大学特任教授である福岡政行氏が事務局長を務める慈善団体であり、QUOカードを用い、東北の幼稚園等へ絵本を届けるなど活用いただいています。



TOPICS 3

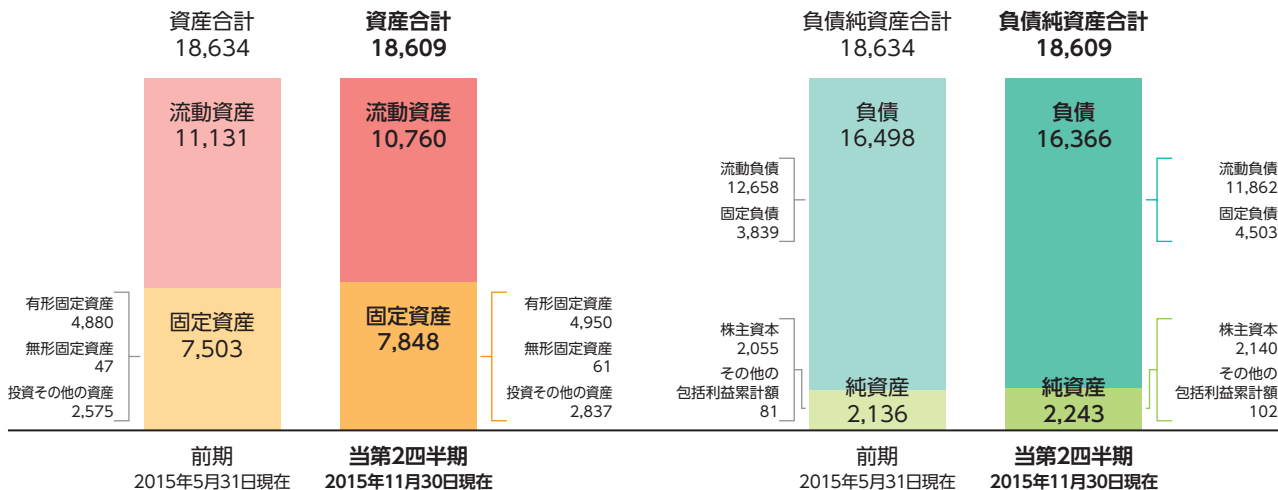
アミカ全店で クレジットカードが利用可能になりました。



2015年9月より、アミカ全店でクレジットカードをご利用いただけるようになりました。ますますお買い物しやすくなったアミカのご利用をお待ちしています。今後も、お客様の満足度向上につながるサービスの充実に取り組んでいきます。

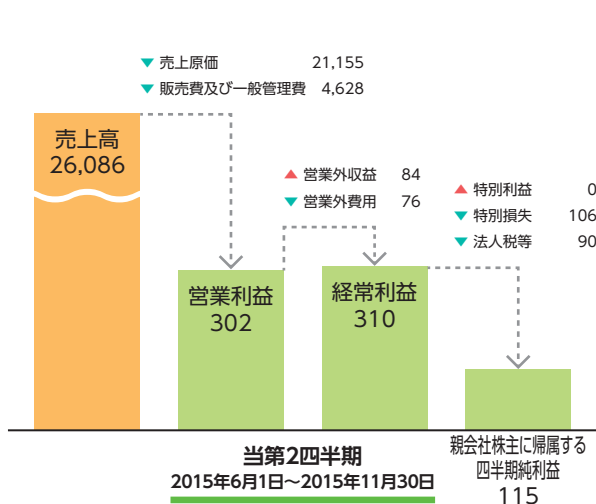
連結貸借対照表の概要

(百万円)



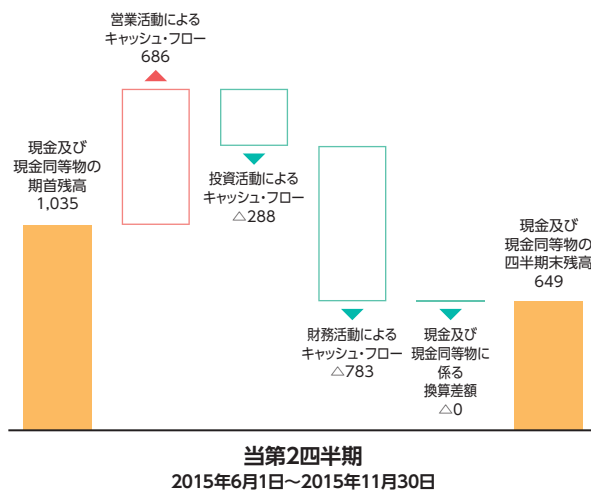
連結損益計算書の概要

(百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



会社概要

2015年11月30日現在

| | |
|--------|----------------------|
| 商号 | 株式会社大光 |
| 本社所在地 | 岐阜県大垣市浅草二丁目66番地 |
| 創業 | 1948年(昭和23年)6月 |
| 設立 | 1950年(昭和25年)12月 |
| 資本金 | 4億7,503万円 |
| 事業内容 | 食品卸売業及び食品小売業 |
| 連結従業員数 | 866名(内パート・アルバイト398名) |
| 子会社 | 株式会社マリンデリカ |

株式の状況

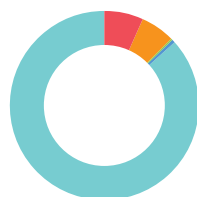
| | |
|----------|---------------------|
| 発行可能株式総数 | 15,360,000株 |
| 発行済株式の総数 | 6,021,600株(自己株式を含む) |
| 株主数 | 8,700名(自己株式を含む) |

大株主

| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|------------|-----------|---------|
| 金森 武 | 1,300,000 | 21.95 |
| 金森 久 | 594,000 | 10.03 |
| 大光従業員持株会 | 420,300 | 7.09 |
| 金森 智 | 360,000 | 6.07 |
| 株式会社大垣共立銀行 | 290,000 | 4.89 |
| 倭 雅美 | 146,000 | 2.46 |
| 株式会社トーカン | 120,000 | 2.02 |
| 株式会社十六銀行 | 80,000 | 1.35 |
| 大光取引先持株会 | 74,200 | 1.25 |
| 川崎 光義 | 70,000 | 1.18 |

(注) 1. 当社は、自己株式100,004株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2. 持株比率については、自己株式を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、個人・その他に含めております。

役員

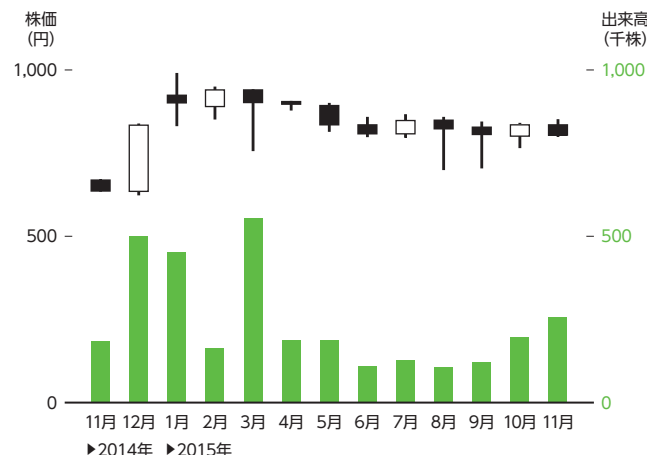
2015年11月30日現在

| | | | |
|---------|-------|-------|--------|
| 代表取締役社長 | 金森 武 | 取締役 | 藤澤 浩 |
| 専務取締役 | 倭 雅美 | 取締役 | 高橋 章夫 |
| 専務取締役 | 金森 久 | 取締役 | 小林 秀幸 |
| 常務取締役 | 秋山 大介 | 取締役 | 今井 敦司* |
| 常務取締役 | 伊藤 光 | 社外取締役 | 吉村 有人* |
| | | 社外取締役 | 前川 弘美* |

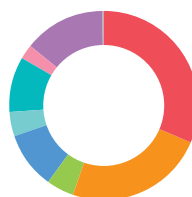
(注) 2015年8月19日に監査等委員会設置会社に移行しました。(※は、監査等委員)

2015年11月30日現在

株価チャート



所有株式数別株式分布状況



| 株式数(千株) | 株主数(名) |
|--------------|--------|
| 50万株以上 | 1,894 |
| 10万株以上50万株未満 | 1,436 |
| 5万株以上10万株未満 | 284 |
| 1万株以上5万株未満 | 588 |
| 5千株以上1万株未満 | 259 |
| 1千株以上5千株未満 | 565 |
| 5百株以上1千株未満 | 154 |
| 1百株以上5百株未満 | 838 |
| 1百株未満 | 0.9 |

株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで

定時株主総会 毎年8月

基準日 定時株主総会の基準日 毎年5月31日
期末配当金の基準日 毎年5月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話番号0120-782-031(フリーダイヤル)

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

【未払配当金のお支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースや店舗情報など、当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



TOPページ

IR情報を
クリック

IR情報ページ



<http://www.oomitsu.com>

株主優待制度のご案内

当社は、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ること、ならびに株主優待制度を通じた当社事業への理解促進を図ることを目的として株主優待制度を設けております。



当社から株主様へQUOカードをお送りします。当社からお送りするQUOカードを未使用の状態でご来店された株主様には、QUOカードを倍額の「アマカ商品券」に交換させていただきます。

1 対象株主様

毎年5月末日現在及び11月末日現在の当社株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様を対象といたします。(それぞれ8月下旬、翌年2月中に発送予定)

2 優待の内容

| 所有株式数 | 優待内容 |
|----------------|---------------------------------|
| 100株以上500株未満 | ▶ QUOカード500円分またはアマカ商品券1,000円分 |
| 500株以上1,000株未満 | ▶ QUOカード1,000円分またはアマカ商品券2,000円分 |
| 1,000株以上 | ▶ QUOカード2,000円分またはアマカ商品券4,000円分 |